

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

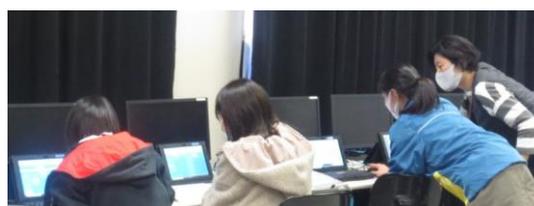
取組目標

豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成を目指す学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。

【今年度の取組紹介】

- ◆コロナ禍の中でも出来ることを模索し、漢字検定の実施、放課後学習支援に取り組みました。
- ◆地域キャラクターの「とみにゃん」が定着し、とみにゃんの歌も完成。授業や行事の中にも取り入れられるようになってきました。今度はキャラクターの第2弾として、単なるマスコットではなく、使命を持ったキャラクター誕生に向け、中学の美術授業の中で、地域見守りを行うキャラクターの募集を行い、生徒から様々な企画と提案がされました。

このことにより、次年度の新たな取組のベースを整えることができました。



【今年度のまとめ】

毎年実施してきたとみにゃんコンサート、防災フェスタがコロナの影響で実施できず、子どもたちが自主的に動ける機会を設けることが少なくなっていました。

その中でも、花いっぱい運動は継続し、ボランティア部の生徒を中心に校内が少しでも明るくなる取組が出来ました。

また、コロナ禍の中で密を避けて行えることとして、新キャラクターの誕生に向け、生徒たちの考える力を引き出すことができました。



【来年度に向けて】

漢字検定の継続、ボランティア活動を、中学校はもちろんのこと、各小学校にも広げていく取組を再開し、自ら考え、行動でき、リーダーシップの取れる子どもの育成に取り組みます。

また、地域の見守りキャラクターの誕生と見守り活動に必要なグッズの作成に向けた取組を行います。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする園児児童生徒

取組目標

子どもたちが地域とのつながりを意識できる

学習環境整備・取組を充実する。

今年度の取組紹介

- **環境整備・栽培事業**では、人的・物的支援をいただき地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動により、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。昨年度まで大きな規模で実施していた協議会主催行事『防災フェスタ in 富南』がコロナ禍等を受けて中止となりましたが、地域防災への取組を何か継続させていくという面から、災害時にも使用できると考えられる、外トイレ環境整備を実施することができました。
今年度、本校にある地域教育協議会コミュニティルームの一時設置場所ともなった建物も、地域の支援を得ることで、子どもたちが地域キャラクター「とみにゃん」カラーにペンキ作業し、明るい雰囲気に整備をすることができました。
- 昨年度から**放課後等学習支援事業**として、夏期休業期間や定期テスト前に、地域コーディネーターをはじめ、ボランティア支援をいただき実施している『とみにゃん学習会』は、自主的に学習参加する子どもたちが定着してきています。コロナ禍で年度始めの学校休業を受けて、スタートが遅くなりましたが、**教育活動支援事業**(情報教育支援・特別支援教育支援等)も継続支援いただいています。いずれも、ボランティア人材の確保は、難しい面もありますが、来年度以降も推進していきたい事業です。
- 中学校区地域教育協議会の**自主的行動促進事業**としての『とみにゃんコンサート』は中止となりましたが、**学校行事支援事業**のもと、地域や保護者に観覧いただく中で吹奏楽部、ギター・マンドリン部演奏会を感染症対策をしながら実施することができました。
- **保健衛生事業**では、地域の支援のもと、感染症対策用として、パーテーション製作を実施することができました。
- **キャリア教育事業**は、本校の子どもたちが、将来について考える指針となっています。今年度はコロナ禍で、地域人材や事業所にご協力いただくことができませんでしたが、地域の方々の物的支援により、子どもたちに必要な表現力とコミュニケーション力を高める時間をもつことができました。



今年度のまとめ

本中学校区では、地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着してきておりました。しかし、今年度はコロナ禍により、諸行事が中止となり、学校活動に積極的に関わりを持ち、定期的に来校いただいている地域の方々以外との協働の場がなくなってしまったことが残念です。
コロナ禍の中、今年度は本事業の地域の支えによる環境整備に重きをおいた活動を展開し、地域、保護者からも気にしていただいていた箇所の整備ができ、好評価をいただくことになりました。
本事業による人的・物的支援により、本校のめざす「美しい学校」づくりを充実推進できました。

来年度に向けて

地域とともに子どもたちを育成する視点を大切に、諸協働活動や本校生徒考案の現キャラクターと今年度地域からの依頼で生徒にデザイン募集し来年度登場する予定の新キャラクターを活かした広報活動等の取組等を実施し、子ども達の「自尊」「他尊」「地尊」の心と主体的に行動できる力を育てていきたいと思っております。ホームページ等の情報発信も、さらに充実していきたいです。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒 仲間を大切にする園児児童生徒 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

- ・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。
- ・地域の方々とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める

今年度の取組紹介

本校はこれまで、地域の特性を生かした体験活動を実施することにより、地域の方とのふれあいを通して豊かな人間性の育成を図ってきました。コロナ禍においても、自分たちが生活する地域社会と積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさを味わうことが、地域を愛する心やより良い生き方・考え方を身につけることができると考えています。

地域の方の人材を生かした野の花ぶんこ読み聞かせ事業として、絵本読み聞かせ体験を設定

全学年全学級および特別支援学級（かがやきルーム）で、地域の方を迎え、情操力の向上を目指して、野の花ぶんこ絵本読み聞かせ事業を行いました。今年はコロナ感染予防に留意しながら、2、3学期30分ずつ全ての学級で、地域の野の花ぶんこの方々が、それぞれの学年の実態に即した絵本を読んできかせてくださり、児童は、とても楽しんでいました。コロナ感染予防に留意しながら、地域の方には、フェイスシールドをつけていただき、児童は自席で前向きに読み聞かせをきく形となりましたが、子ども達は「絵本が好きになった。」「次のお話は、どんな話かな。早く聞きたい。」など、本に対する親しみがわき、表現能力の向上につながっています。今年度は、保護者の方に来ていただきファンタジータイムを行えませんでした。学校司書と連携を取り図書室の整備は行うことができました。



今年度のまとめ

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「校内および地域の環境整備事業」「楽器演奏体験やお茶の体験など地域の人材を生かした学習」「放課後学習の充実」を柱に、学校・保護者・学生・地域が協働して様々な取組を推進しようとしてきました。しかし、コロナ感染予防に留意する中で、楽器演奏体験やお茶体験や学生ボランティアが来ていただく放課後学習はできませんでした。コロナ禍でできたどの取組でも、ボランティアの方々に多大のご苦勞をいただきましたが、事後、どの方も「学校に来て、子どもに元気をもらった。」等の肯定的なご意見を多数いただいています。また、児童からも「福祉体験でお世話になった近所のおじさんに挨拶したら、声をかけてもらいました。」等の話を聞くことができました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができました。地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことができました。

来年度に向けて

あたえられた環境の中とコロナ感染予防に留意しながら、活動内容を深化発展させるとともに、地域の方々との絆をさらに深め、ボランティアおよびコーディネーターの人材発掘も今年度以上に積極的に進めていく必要があると思います。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児・児童・生徒
- ・ 仲間を大切にする園児・児童・生徒
- ・ 命を大切にする園児・児童・生徒

取組目標

体験 発見 創造ひろがる「三碓学習」

歴史ある「みつがらす」地域とのつながりを大切にした学習環境の整備に取り組み、子どもたちが「みつがらす」に愛着と誇りを感じることでできる取組にする。

今年度の取組紹介

今年度も「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」「米作り」など各学年で、テーマに基づき、様々な本物に触れる活動を行う予定でした。しかし、コロナ禍で学年当初からの休校が続き、地域との交流を含む学習活動が大きく制限されました。なかでも、田植えや稲刈りで密になってしまう5年生の「米づくり」と休校中の近畿大学との共同で進める「環境学習」が行えなくなりました。

そこで、地域の田んぼではなく、「三碓の里山」事業に田んぼづくりを加えて、校内の中庭に田んぼを造成しました。地域の方やJAの方にご協力をいただきながら、土づくりから田んぼの水の管理を子どもたちとともに行い、間近で稲の成長を見ることができました。思ったよりもたくさんの米がとれ、脱穀・精米を行い、家庭科の学習で食すことができました。

また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」によるより使いやすい図書室への改装と「校内緑化」及び「校内環境整備」事業を進めました。



今年度のまとめ

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。今年度は、コロナ禍で例年通りに行えなかった分、どうすればよいか改めて考える良いきっかけにもなりました。地域を愛する方々とともに実体験をした児童は、「みつがらす」という郷土とともにそこに暮らす人々を愛し、誇りをもつことができました。

ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は地域の力をお借りすることがあまりできませんでした。子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく田畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に考える」取組を行うことができました。

来年度に向けて

実体験ができる「環境」と「人」の提供を目指して取り組んでいますが、来年度も今年のように人との接触が制限されるようであれば、ICTの活用も視野に入れて検討していこうと考えています。また、校内緑化・整備事業や地域と学ぶ三碓学習などは継続的に推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童の育成に努めていきます。地域の方々と連携し進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする 園児児童生徒

取組目標

地域の方との交流を通して、さまざまな経験、体験を積むことにより「豊かな心」「やる気」を育み「しなやかな身体」の育成を行うことにより、「生きぬく力」を身につけさせる。

【今年度の取組紹介】

お話しの会では、『野の花文庫』さんに来ていただき、素話や指人形、絵本などの読み聞かせをしてもらっています。年齢や興味に応じて話し方や内容を工夫してもらって毎回子ども達はわくわくしながら「今日の話はなにか？」と、この日を楽しみにしています。テレビやメディアから聞く声とは違い、人から読んでもらう声にはぬくもりを感じると共に想像力を膨らませお話しの世界へと導いてくれます。その積み重ねが、聞く耳を育て、情緒豊かな子ども達へと育ててきています。



サッカー教室は年に5回あります。しっぽ取りゲームや、色鬼などの簡単なゲーム遊びから始まり体をウォーミングアップさせます。その後は、チームに分かれ対戦をします。負けて悔し涙をする時もありますが、サッカーを通じて「自分一人が頑張ってもだめ。」チームみんなが、一緒になって頑張る事の大切さを教えていただきました。今では、自分達でサッカーゴールを出してゲームを楽しんでいます。

【今年度のまとめ】

園に来ていただくボランティアの方々や講師の先生には、「ひと」と関わる楽しさを教えていただきました。また、少人数の利点でもあり、一人一人に応じた声掛けや、丁寧にかかわっていただく事で、様々な経験や体験を積み重ね、豊かな心を育みそれぞれの得意分野をのぼすきっかけとなりました。この事は、この先、色々な人と関わり自分らしく生きていく力の基礎となるはずです。

【来年度に向けて】

来年度も人とのふれあいを大切にしながら、「しなやかな身体」の育成を目指し、「生き抜く力」を身につけていけるように計画をたてて取り組んでいきたいと思ひます。

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児児童生徒
- ・ 仲間を大切にする園児児童生徒
- ・ 命を大切にする園児児童生徒

取組目標

ぐんぐん 伸びよう 笑顔 いっぱいタイム

【今年度の取組紹介】

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、計画していた絵本タイム（絵本の読み聞かせ）は中止となりましたが、野の花ぶんこさんの『おはなしの広場』や絵本貸し出しの『とみなん文庫』は実施することができ、絵本や紙芝居、お話に親しみました。子どもの興味や年齢に応じた絵本を選んだり、子どもがより興味をもてるような読み聞かせの工夫をしたりして取り組んでくださいました。お話のストーリーや言葉に興味や関心をもち、驚いたり笑顔を見せたり等、様々な姿を見せながら楽しんで聞いている様子が見られました。回を重ねるごとに、集中力や話を聞く力が身につく、心や感性も豊かになってきています。
- 
- ・栽培活動では、作物を育て収穫することはできましたが、園で調理をして食することはできませんでした。コロナ禍ではありましたが、地域の方が気にかけてくださり、定期的に園庭の畑の様子を見に来てくださいました。肥料を撒いたり、マルチを敷いたり等の作業をしているところに「何しているの？」と子どもが声を掛けかわろうとする姿が見られました。やり方を教えてもらって一緒にしてみたり、挨拶をしたり等、人とのふれあいを通して、人とかかわる力やコミュニケーション力へと繋げていきました。
- 
- ・今年度よりサッカー教室の講師の方々が変わりました。体を動かしながらサッカーを楽しむことが一番の目的ではありますが、それだけではなく、人の話を聞くことの大切さを教えてもらい繰り返し声かけをして積み重ねることで、聞く姿勢や集中力が高まってきています。

【今年度のまとめ】

- ・様々な制限の中での活動ではありましたが、活動の方法を工夫することで、これまでの事業を続ける事ができました。クラス単位での取り組みは、少人数で落ち着いた環境の中での活動となり、人とかかわる楽しさを十分に感じたり、自分の思いを出しながら主体的に活動に取り組もうとしたりする等、子どもたちの笑顔があふれる意欲的な姿が見られました。

【来年度に向けて】

- ・活動の方法の見直しと工夫を行い、次年度も定期的に指導講師を招聘したり、地域ボランティアの協力を得たりしながら、いろいろな体験を通して、豊かな感性や健やかな体づくりに取り組んでいきます。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする園児児童生徒

取組目標

人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取組を行っていく。

【今年度の取組紹介】

・わんぱくキッズの講師の先生に来て頂き、運動あそびを楽しみました。鉄棒では、前回りや逆上がりにつながっていく、まずは「ハンドパワー」を十分楽しんで挑戦しています。「四つ這い」は大切!!自分の腕で、自分を支える力。左右のバランスを取りながら移動をしていました。力加減や距離感を考えながら楽しめるボール遊びもしました。成功することを繰り返していき、次は努力してでも「やってみたい」「もっとやりたい」気持ちをもてるように進めてくださっていました。初めから終わりまでほとんど動きっぱなしなのに、子ども達は最後まで夢中で楽しんでいました。



・今年もJAの方にご指導いただきながら、1年間通してお米作りをしました。田んぼの土を整える“しろかき”から始まり、“田植え”“稲刈り”“脱穀・精米”と活動を続けました。米作りへの関心やごはんをいただくありがたさを感じていたようです。

【今年度のまとめ】

- ・身近に畑がある環境のなかで、地域の方に教えてもらいながら、苗や種を植え、水やりや草引きなどの世話をしながら成長を観察してきました。その中で、土の感触を知ったり、成長の中で驚きや不思議を感じたり、収穫への期待や収穫の喜びを感じることができました。
- ・運動あそびやおはなしの会の方に来ていただくことで、今まで以上に体を動かすことが好きになったり、いろいろな絵本に興味を持ったりすることにつながりました。

【来年度に向けて】

- ・コロナウイルス感染症対策を徹底したうえでの取り組み方の工夫をして、地域の方とのつながりをもつ機会を増やしていきたいと思っています。
- ・学園南こども園での取組を地域の方々に知っていただける広報活動を計画していきたいです。